



「春季北海道エンデュランス馬術大会」 見学レポート

6月25日(日)に鹿追町ライディングパークで開催された春季北海道エンデュランス馬術大会に行ってきました。
見学ツアーのご案内が直前になってしまったこともあり参加は1名、動物好きでエンデュランス競技を見てみたかったというMさんと小回りをきかせてライディングパークやクルーポイント、コースを見学することができました。

鹿追町ライディングパークは北海道のど真ん中、帯広から車で1時間程度のところです。

鹿追は、2000年に第1回全日本選手権が同会場で開催されて以後、八ヶ岳2回と飯綱2回を除いて、今まで14回もの全日本選手権を開催している、日本のエンデュランス競技のメッカともいえる場所、今年の9月にも4年ぶりに全日本選手権が開催されます。



周囲は十勝平野らしい広大な畑や牧草地が広がる畑作・酪農地帯で、然別川沿いのフラットなコースと林道を組み合わせたコースで標高差180m程の走りやすいコースです。

ライドベースとなるライディングパークには草競馬大会も開催される900mほどのトラックがあり、迫力のある競り合いが見られることも！？

梅雨のない北海道、爽やかな晴天の中、EN80：12人馬、EN60：5人馬、EN40：3人馬、EN20：5人馬がスタートしました。

全日本に向けての資格取りやトレーニングを狙ってか、EN80はエントリーが多くメンバーも豪華でした。

- <一部参加選手のご紹介>
- ・昨年全日本を制したコンビのラブリ号×峯山選手 (My Stable)
 - ・昨年全日本2位のショーン号×世界選手権出場経験を持つ廣橋選手 (My Stable)
 - ・過去全日本3連覇したコンビのキセキノヒカリ号×荒井選手 (TEAM GRASSHOPPER)



EN80は6時にスタート、先頭集団は第1ループ30.2kmを2時間程度で戻ってきました。
夜明けが早いこの時期、まだ朝8時でしたが、すでに日差しが強く感じられ、各チームとも必死のクールダウンを行なっていました。
獣医検査に入っても心拍オーバーの馬がいたり、15分目一杯時間がかかる馬が目立ちました。
豪華メンバーだけにハイペースに引き摺られてしまった人馬もいたようで、この1レグのハイペースが明暗を分けたと思います。





第2フェイズ以降はさらに気温が上がり、各馬慎重なレース展開。
最終フェイズゴールの頃には雲が出てきましたが、それでもかなり暑く、
各チームのクーリング技術が試される展開でした。

EN80 で最初にゴールを切ったのは先頭集団を引っ張り続けた廣橋選手×シヨーン号、
峯山選手&ラブリー号。

My Stable チームは EN60 のゴールも重なっていましたが、流石のチームワークでの確な
クーリング、見事に廣橋選手×シヨーン号が優勝、山選手&ラブリー号がBCを獲得しまし
た。



峯山選手×ラブリー号



トレーニングライド 20km では、最年少 10 歳で初出場の田中心絆選手が、ベテランライダーのおじいちゃん
と一緒に安定した走行をみせ、家族全員でクーリングをして見事完走しました。
各地で若い世代の選手の活躍が見られ、嬉しい限りです。

私は何回もこの地で全日本や公認競技会に何回も出場させていただいてきましたが、コロナで丸3年訪問するこ
とが叶わず、役員や選手の皆さんと久しぶりに再会できて嬉しかったです。

●ご参加の M さんのコメント

「実際に見学してみて、思ったよりもほのぼのとした雰囲気、ピクニックみたいで楽しかった。
選手として出場するのはハードルが高いけど、馬のケアにとっても興味をもったので、クーリーとして参加してみたい
です。」

最後に、見学ツアーを受け入れてくださり、色々ご配慮いただいた実行委員会の皆様に感謝申し上げます。

尚、9月に開催されるの全日本エンデュランス馬術大会の見学ツアーを企画しましたので、参加希望の方は募集要項をご確認いただき、
お早めに事務局までお問い合わせください。

文責：日本エンデュランス・ライド協会 谷

